

仮設部材の工夫による型枠施工の省力化

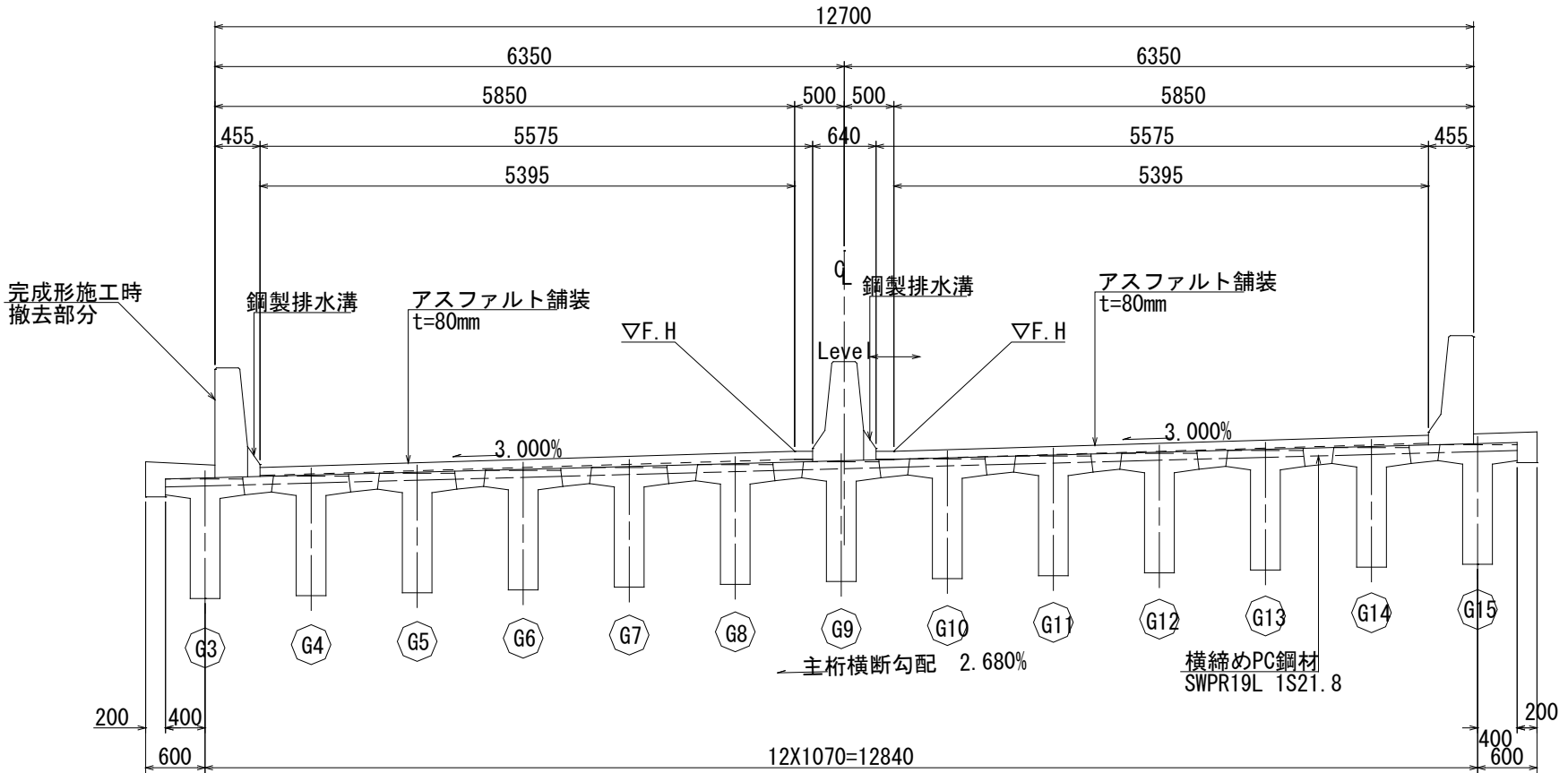
大阪支店真栄会 土木部会
廣内工業株式会社

工事概要

橋梁形式： 8径間連結プレテンションT桁橋
延長： L=176m(最大支間長L=22m)
弊社担当： 支承工、横組工、橋面工 一式

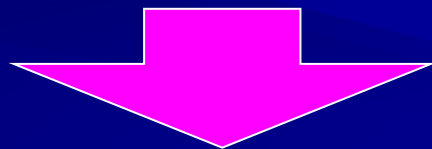
構造一般図

標準部



動機・ねらい

- ① 技術提案による工期短縮の要請
(架設完了から足場解体まで5ヶ月)
- ② 1径間13本のI桁橋(広幅員)
- ③ 中央分離帯と、路肩保護コンクリートを有する構造



型枠施工の効率化が必要

改善提案

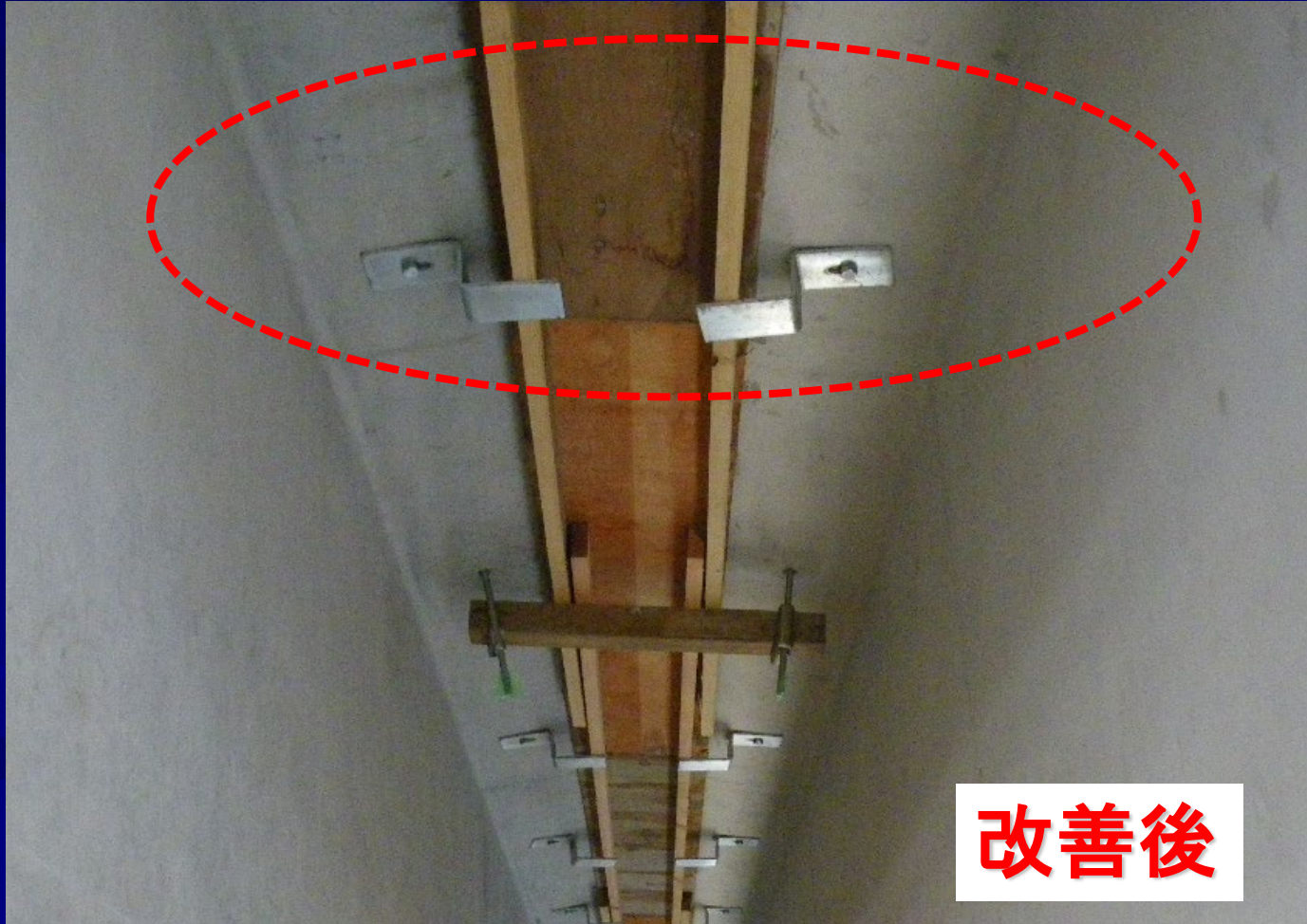
横組工：締め付け金具採用による部材省力化



改善前

改善提案

横組工：締め付け金具採用による部材省力化

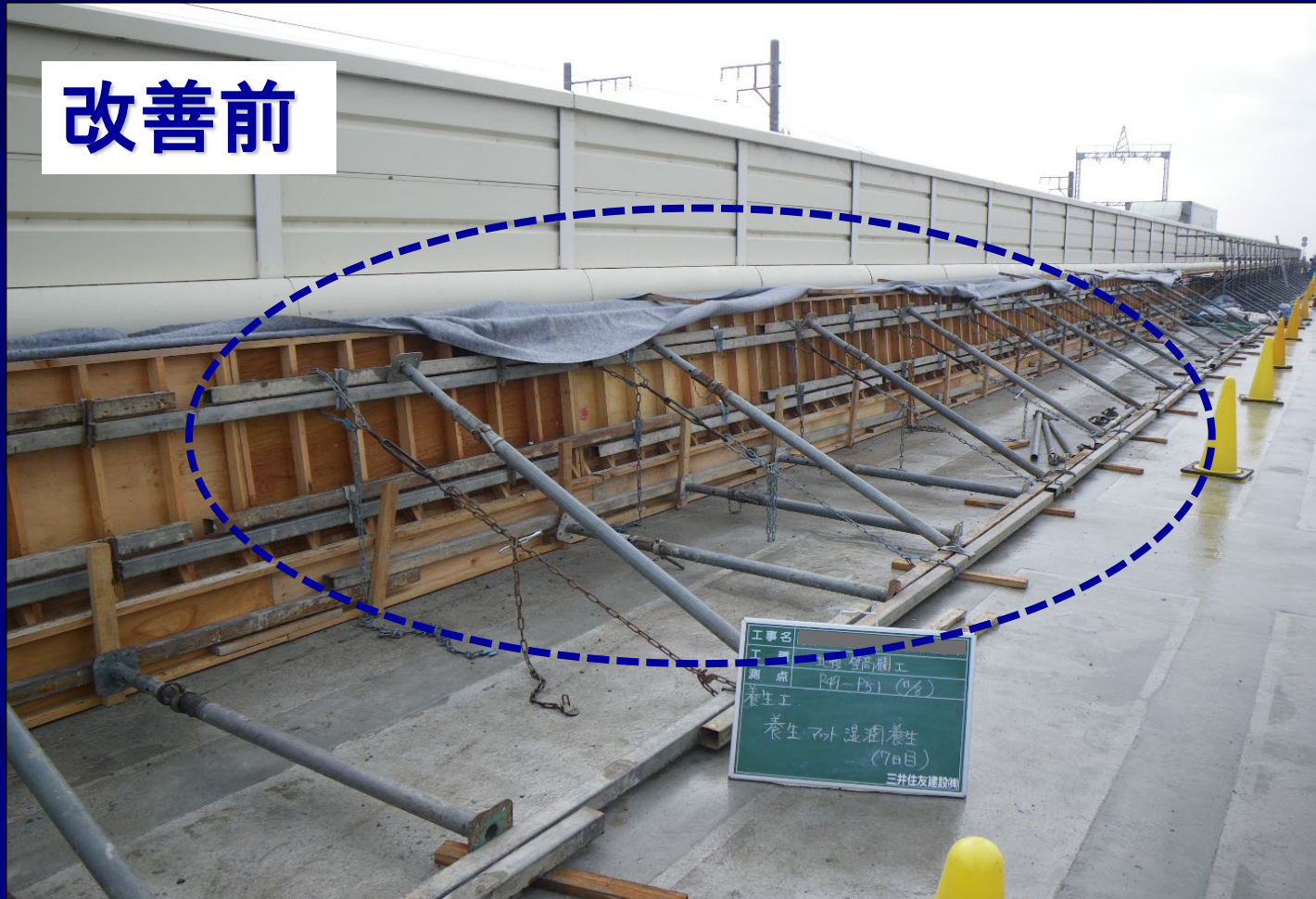


改善後

改善提案

壁高欄工：インクサポート採用による部材省力化

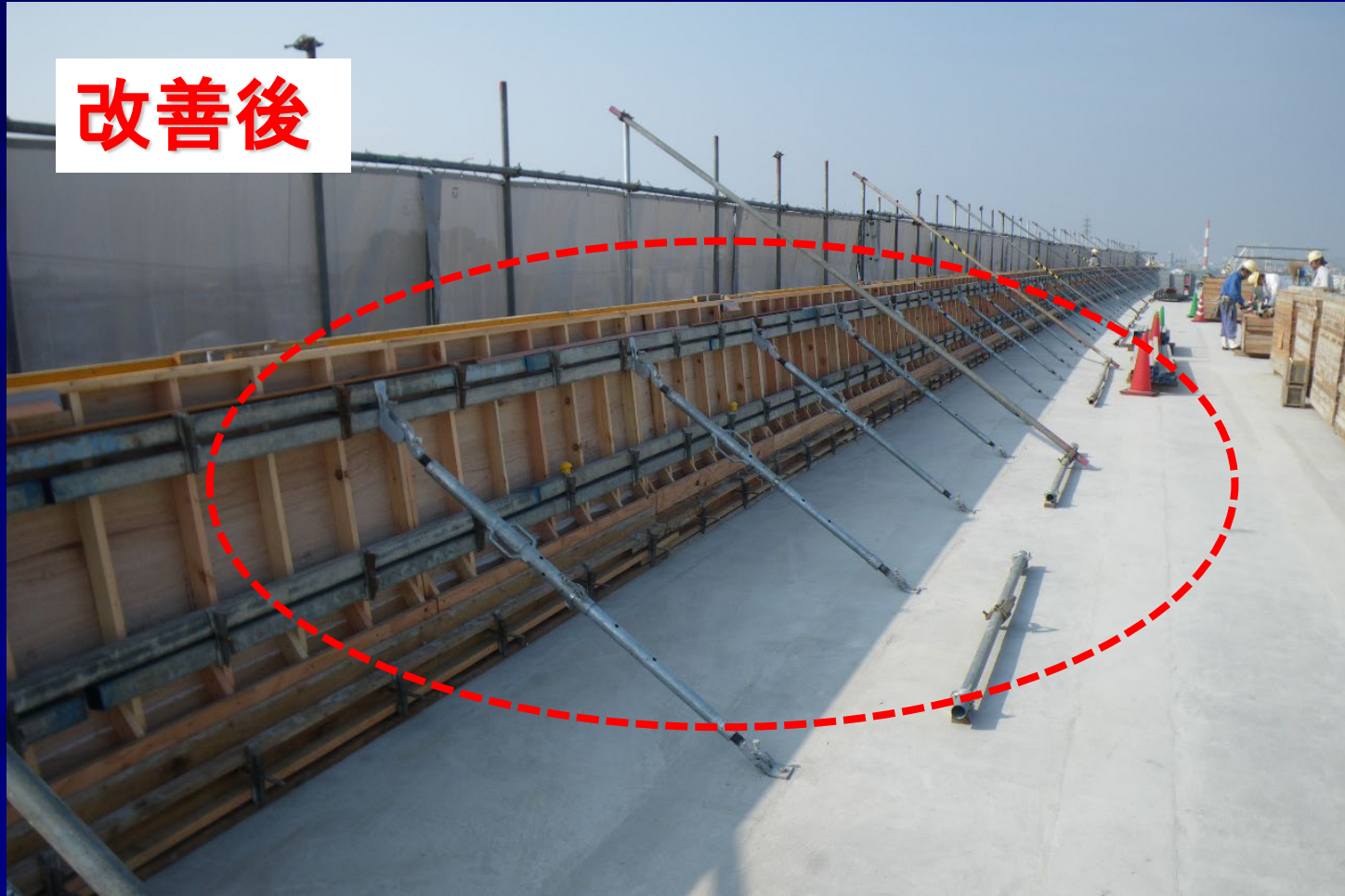
改善前



改善提案

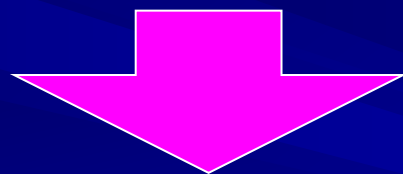
壁高欄工：インクサポート採用による部材省力化

改善後



改善効果

- ① 部材省力化に伴い、施工平準化が図れた。
- ② 部材量の減少により運搬・荷上げも省力化できた。
- ③ 作業効率の向上により作業時間の短縮が図れた。



◎工期の短縮に貢献

◎工事費の圧縮に貢献